

最新の3か月予報と 洪水予報文の様式変更について

予報のポイント

- 暖かい空気に覆われやすいため、向こう3か月の気温は高いでしょう。
- 梅雨前線の影響を受けやすい時期があるため、向こう3か月の降水量は平年並か多いでしょう。

	平均気温 (向こう3か月)	降水量 (向こう3か月)
北陸地方	低10 並30 高60% 高い見込み	少20 並40 多40% 平年並か多い見込み
数値は予想される出現確率 (%) です	<p>平均気温 (3か月)</p> <p>低い確率 (%) 50 40 40 50 高い確率 (%)</p> <p>以上 平年並も40% 以上</p>	<p>降水量 (3か月)</p> <p>少ない確率 (%) 50 40 40 50 多い確率 (%)</p> <p>以上 平年並も40% 以上</p>

季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い(少ない)、平年並、高い(多い)」となる確率で表しています。

「平年並」がどの程度の値になるのかについては、参考資料 (<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/sankou/hokuriku3.html>) をご覧ください。

文章による解説については、確率の大きさに応じた言葉で表現しています。詳しくは本資料末尾の「[参考\(確率予報の解説\)](#)」をご覧ください。

月別の天候

- 各月ともに、平年と同様の見込み。

6月	<ul style="list-style-type: none">• 期間の前半は、天気は数日の周期で変わるでしょう。期間の後半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
7月	<ul style="list-style-type: none">• 平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
8月	<ul style="list-style-type: none">• 平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

北陸地方

梅雨入り平年：6月11日ごろ

梅雨明け平年：7月23日ごろ

月別の平均気温 北陸地方

月別の気温

暖かい空気に覆われやすいため、各月とも高い見込み。

	平均気温 6月	平均気温 7月	平均気温 8月
北陸地方	低10 並30 高60% 高い見込み	低20 並30 高50% 高い見込み	低20 並30 高50% 高い見込み
数値は予想される出現確率 (%) です	<p>平均気温 6月</p> <p>低い確率 (%) 50 40 40 50 高い確率 (%)</p> <p>年平均値も40</p>	<p>平均気温 7月</p> <p>低い確率 (%) 50 40 40 50 高い確率 (%)</p> <p>年平均値も40</p>	<p>平均気温 8月</p> <p>低い確率 (%) 50 40 40 50 高い確率 (%)</p> <p>年平均値も40</p>

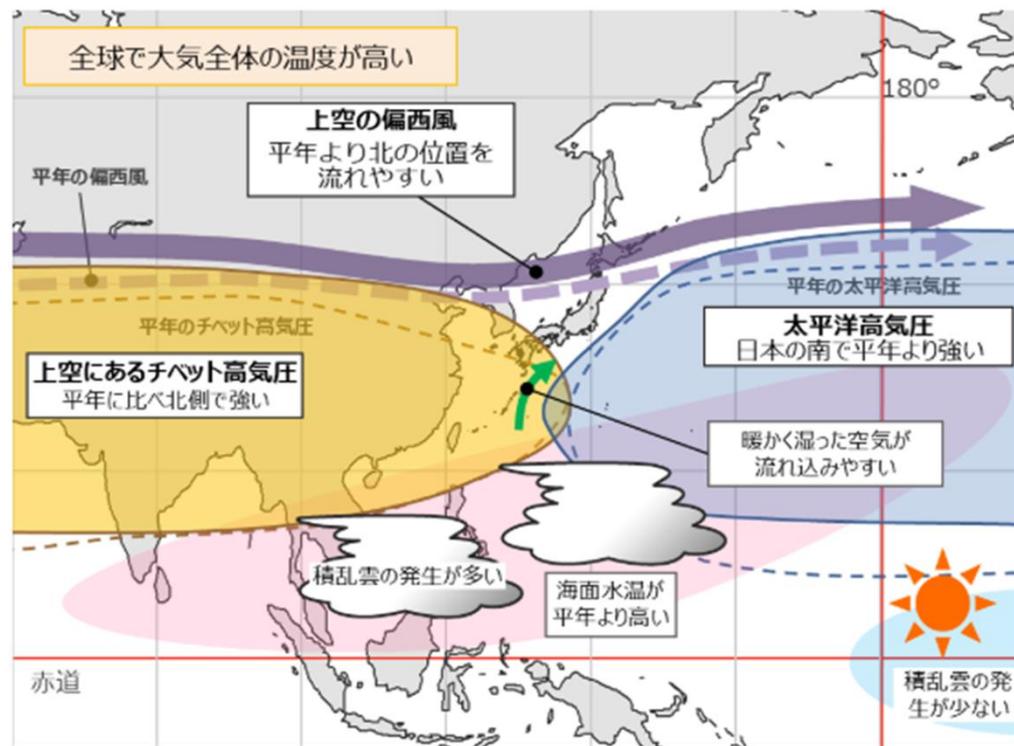
月別の降水量 北陸地方

月別の降水量
各月ともに、ほぼ平年並の見込み。

	降水量 6月	降水量 7月	降水量 8月
北陸地方	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み
数値は予想される出現確率 (%) です	<p>降水量 6月</p> <p>少ない確率 (%) 50 40 40 50 多い確率 (%) <small>以上 平年並も40% 以上</small></p>	<p>降水量 7月</p> <p>少ない確率 (%) 50 40 40 50 多い確率 (%) <small>以上 平年並も40% 以上</small></p>	<p>降水量 8月</p> <p>少ない確率 (%) 50 40 40 50 多い確率 (%) <small>以上 平年並も40% 以上</small></p>

3か月(6~8月)の予想される海洋と大気の特徴

- 地球温暖化の影響等により、全球で大気全体の温度が高いでしょう。
- 太平洋熱帯域の海面水温は中部で低く、西部で高い状態が続くでしょう。また、インド洋熱帯域からフィリピンの東方海上にかけて海面水温が高いでしょう。このため、積乱雲の発生はベンガル湾からフィリピンの東にかけて多いでしょう。
- これらの影響により、上空の偏西風はユーラシア大陸から日本付近にかけて平年より北の位置を流れやすく、チベット高気圧は平年に比べ北側で強いでしょう。また、太平洋高気圧は平年に比べ日本の南で西への張り出しが強く、**本州付近を中心に暖かく湿った空気が流れ込みやすい**でしょう。
- これらのことから、北陸地方は**暖かい空気に覆われやすい**でしょう。また、**梅雨前線の活動が活発となる時期がある**でしょう。



数値予報結果をもとにまとめた予想される海洋と大気の特徴

この期間の注意点等（北陸地方）

- 向こう3か月の気温は、高い見込みです。
十分な熱中症対策など、健康管理に注意してください。
農作物の管理等にも注意が必要です。
- 向こう3か月の降水量は、暖かく湿った空気の影響や梅雨前線の影響を受けやすいため、平年並か多い見込みです。
梅雨前線の活動が活発となる時期がある見込み。
近年は、全国的に梅雨時期などに大雨の発生頻度が増加していますので、最新の気象情報に留意してください。

【命を守るための具体的な準備や行動】

- 1. 自宅周辺の危険度を確認**（普段からできること、注意報が発表された時）
各市町で土砂災害ハザードマップや洪水・浸水ハザードマップ（名称が違うことも）を作成しホームページに掲載しています。各家庭にも配布されていると思いますが、無い場合は、市役所や町役場に行けば貰えると思います。
- 2. 避難所や避難経路の確認**（普段からできること、注意報が発表された時）
ハザードマップには避難所も掲載されています。自宅から避難所までの避難経路を確認しておく。この時に、危険箇所を避ける。
- 3. 気象情報の確認**（最大5日前から）
 - ・早期注意情報（警報級の可能性）で [中] や [高] が予想されているか
 - ・気象情報が発表されていれば内容を確認
 - ・注意報や警報が発表されているか
 - ・キキクル（土砂、洪水、浸水）で自宅周辺に黄色や赤色の表示の確認
- 4. 市町からの避難指示等**
 - ・自宅が含まれる地区に避難指示が発令され、危険な場所であれば**躊躇することなく安全な場所へ避難**する。
 - ・避難情報が発令されていなくても危険な場合は、避難することを考慮

